

議会だより

12月定例会 No.10
平成20年2月1日

ししか

Shika

みんなの声を国政に

… 6

更なる福祉向上を目指して

… 8

地震被害が来年度予算に及ぼす
影響は (一般質問)

… 10

成人おめでとう
(志賀町成人式)

… 15・16



防災へ鍛錬誓う



1月4日に行われた志賀町出初式では、12月に各消防団に手渡されたばかりの真新しいまといを振りかざして一斉放水が行われた。(神代川)

12月定例会は4日から17日までの14日間の会期で開催されました。

ショートステイ条例の制定をはじめ、平成19年度一般会計補正予算、ケーブルテレビ整備工事などの工事請負契約の締結及び一部変更、町道認定、指定管理者の指定などの議案25件、継続審査としていた18年度の各会計決算の認定11件、議員提出の意見書案7件、人権擁護委員の推薦を審議し、それぞれ全会一致で可決しました。

一般質問には3人が町政全般にわたり質問しました。

一般会計補正予算

8,478万円を可決（全員賛成）

一般会計総額 170億 1,560万円

◆補正予算

地震災害によるゴミ処理費負担金
6千72万円

産地競争力強化事業
1千万円

町特産こころ柿の畑用防霜ファン（送風機）設置に対する補助。

老人保健事業
500万円

検診者増に伴う健康診査委託料の増額。

観光地魅力アップ事業
237万円

ヤセの断崖整備、大島諸願堂植生復元、志賀の郷桜木整備事業。

企業誘致対策経費
3千986万円

中核工業団地新規工場の立地に伴う企業立地補助金の増額。

介護慰労金

108万円

寝たきりの方を家で介護している人に対する慰労金の増に伴うもの。月5千円。

◆条例

ショートステイ条例

町デイサービスセンター横に建設中のショートステイが、本年1月末に完成予定であり、指定管理者による指定など所要の事項を定めた条例を制定。（全員賛成）

保育所条例

休止中の稗造保育園の用途廃止及び取り壊しが国から承認されたので、条例から削除。（全員賛成）

◆指定管理者

ショートステイの指定管理者に社会福祉法人はまなす会を指定。（全員賛成）

ケーブルテレビ整備 本格工事着工

◆請負契約・変更

ケーブルテレビ整備工事（施設装置設置工事）
パナソニックSSエンジンアリング（株）
12億3千165万円

ケーブルテレビ整備工事（伝送路工事）
富士通ネットワークソリューションズ（株）
10億8千631万円

同報系防災行政無線整備工事
NECネットワークス（株）
7億1千400万円

土田小学校校舎棟耐震補強工事
南建設（株）
1億3千125万円

公共下水道事業中央水処理センター（前処理・混和池）電気設備
汚泥濃度計のコスト、維持管理面で優れた機器が開発されたための変更等に、164万円増額し、契約金額を9千849万円に変更。
（株）日立製作所金沢支店

公共下水道事業管路工事（中央65工区）
池田建設工業（株）
5千71万円

人権擁護委員に2人を推薦
任期満了となる人権擁護委員に小谷内正孝さん（鶴野屋）、三津幸子さん（天島）の再任が諮問され、適任とする意見を答申しました。（全員賛成）



小谷内 正孝さん



三津 幸子さん

常任委員会 レポート



順調な出足の富来地域を走るコミュニティバス。

委員長 越後 敏明
副委員長 松浦 恒義
委員 田中 正文
" 寺岡 真貴子
" 櫻井 俊一
" 山本 辰榮

総務

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。主な審議内容等を報告します。

コミュニティバスは計画どおりか

問 富来地域のコミュニティバスは計画どおりか。

答 10月2千766人、11月3千47人の実績であり、人口比率で志賀地域に比べ多く、順調だと思っ

問 同報系防災行政無線整備工事で、屋外拡声子局の位置は変わらないのか。

答 位置は変わらないが、アナログ方式からデジタル方式となる。

問 全国的に看護師不足であり、労働条件の改善を求める動きが強くなっているが、看護師の給与は近隣の自治体と比べてどうか。

答 近隣自治体の病院と比べ、あまり変わりはないが、募集してもなかなか応募がないという現実を踏まえ、相談しながら検討したい。

教育民生

委員長 橘 照茂
副委員長 戸坂 忠寸
委員 下池 巳造
" 須磨 隆正
" 林 一夫
" 稲村 幸雄

介護慰労金増額の理由は



完成に向けて工事が進むショートステイを視察する委員ら

問 介護慰労金が当初より増えた理由は。

答 寝たきりの方を家で介護している人に対して、月5千円、年6万円支払う。当初、130人分780万円見込んだが実績では148人で888万円となった。施設が足りないとかではなく、家で過ごしたい方が増えた。その支援として、デイサービスを建設した。

問 来年スタートする後期高齢者医療制度では、今まで無料でやっていた健康診断で負担金を取るのとことだが、医療費の低下に繋がっていることもあり、町として何らかの検討をお願いしたい。

答 後期高齢者医療は県内の広域連合で行うが、町としては75歳以上の老人から負担金をとることに反対した。町独自の考えを出せないかと検討している。

問 保険給付が予想以上に増えた理由は何か。その対策はあるのか。

答 入院にかかる費用が増えている状況であり、特定検診で保健指導を図りたい。

問 新中学校のグラウンドの照明は。

答 部活動の状況等の状況を踏まえ、充実したかたちに整備したい。



下水道工事の現場を現地視察する委員ら。(写真は長沢地内)

産業建設

委員長	富澤 軒康
副委員長	南 政夫
委員	小田 芳治
〃	辻 武美
〃	久木 拓栄
〃	木村 正男

観光地魅力アップ事業とは

問 観光地魅力アップ事業を詳しく説明願う。

答 ヤセの断崖の工事は12月に入札が終わり、駐車場整備、案内板の設置、園路のやり直し、見晴台にベンチの設置等、景観を確保しながら進めている。

その他、大島諸願堂植生復元、志賀の郷桜木整備を進める。

問 民設民営の水道などは、地域や自分達で管理をしている。能登半島地震でタンクの漏水等があり、町に修繕等お願いしているが、なかなか進まない状況だ。

答 地域の方が希望すれば県の助成(補助事業)があるが、受益者に負担金が発生する。

該当地区は高齢者が多く、個人負担もかかることから進まない状況である。

一方で、民営で行っていたが、地震で被害が発生し、町の下水道に加入する地区もある。



工事中のショートステイ施設

今春の開所に向けて

志賀町ショートステイ

今春の開所に向けて、志賀町デイサービスセンター横に建設中のショートステイが、1月中旬に完成の予定です。

12月定例会では、ショートステイ条例、指定管理者の指定、追加工事に伴う請負契約の変更が可決され、着々と準備が進められています。

ショートステイとは、要介護者を短期間入所させて、入浴・排泄・食事の介護等日常生活のお世話と機能訓練を行い、利用者の機能維持と家族の身体的・精神的負担の軽減を図ろうとする施設です。

鉄骨平屋建て。個室6室、多床室(二人)7室の定員20名。

議員の一言コーナー

騒動は米びつから

昔からの言葉で「騒動は米びつから」と言われている。

07年は食品偽装やH1HI、大型電気メーカーの大幅な決算訂正等、また一方、国・地方においても一段と強く求められている行財政改革も米びつ騒動が一因した年であったと思う。

08年は公的年金の受給資格者の確認作業や国庫負担2分の1約2兆3千億円の新たな負担、毎年数千億円規模で増え続けている社会補償費など課題の先送りが見られず、税制改革の名前のもとで消費税論議が報じられている。

これも大儀である国民生活に関わることであるが為、理解をしなければと思うが、都市と地方の

格差や所得の格差が広がるばかりだとの論調もあり、また原油高騰と関連生活物資の値上げなどが加わる中での新たな国民負担の増加である。

もはや、米びつが底を尽きそうな国民から一揆など起こらないよう願うばかりである。

(小田 芳治)

12月定例会で7件の意見書が議員提案され、採決の結果、全会一致で可決されました。

可決された意見書は、総理大臣、衆参議院議長ほか、担当大臣宛てに送付しました。

真の地方分権に向け 地方税財源の充実強化を

地方税財源の充実強化を求める意見書

提出議員 越後 敏明
他5名

(全員賛成により可決)

要旨 地方分権改革が進展し、地方自治体には厳しい財政状況のもと、将来にわたり地域のニーズに的確に応じていくためには、国から地方の権限と財源の委譲が不可欠である。

真の地方分権の推進に向け、次の事項を強く要望する。

- ① 国と地方の役割分担の明確。地方への過剰な関与の見直し。権限、財源の更なる委譲。
- ② 安定的財政運営への配慮。地方交付税等の一般財源総額の還元・拡充。
- ③ 地方債の元利償還に対する交付税措置の確実な履行。



年金問題 早期解決・信頼回復を

年金問題の早期解決・信頼回復を求める意見書

提出議員 橋 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

要旨 社会保険長のさまざまな管理により、5千万

件にも及ぶ未確認年金記録の存在が明らかになったうえに、社会保険庁等の職員による国民年金保険料の着服が3億円を上回るなど年金制度に対する不安や社会保険庁に対する不信が高まっている。

国は年金問題について、一人の被害者を出す

更なる少子化対策を講じよ

総合的な少子化対策を求める意見書

提出議員 橋 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

要旨 国、地方自治体では今日まで様々な少子化対策を講じてきましたが、依然として歯止めがかからないことから、効果的かつ総合的な対策についての検討が求められている。

社会全体での子育て支援のほか、社会構造改革など、総合的な支援策を

ことなく、早期に解決され、国民の信頼回復に最善を尽くすことを強く求める。

提出議員 橋 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

展開すべきであるとともに、多額の財源を確保するという観点からの制度改革が必要である。

国に対し更なる総合的な少子化対策の施策を講じるよう強く要望する。

提出議員 橋 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

道路特定財源の確保を

道路特定財源諸税の 暫定税率維持に関する 意見書

要旨 今回の能登半島地震では、集落が孤立するなど災害時において交通の途絶の危険性が高いことを改めて認識させられ、安全・安心の観点からも災害に強い道路整備の必要が一層浮き彫りとなった。

道路特定財源については、地方の貴重な道路整備財源となっている現状にかんがみ、道路特定財源の現行の税率系を維持するとともに、平成20年度以降も現行の税率水準を維持する法案を、今年度内に確実に成立させることにより、安定的かつ確実な財源を確保することを強く要望する。

提出議員 富澤 軒康
他5名

(全員賛成により可決)

障害者の参政権保障

議論の場を設けよ

障害者の参政権の保障に関する意見書

要旨 日本の公職選挙法は、障害者にとって非常に参加しづらく、制約が多いものとなっている。こうした障害者の参政権保障に関わる議論の場

を新たに設けることを国に対して強く要望する。

提出議員 橘 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

教育予算の確保・充実に

教育予算の拡充を求 める意見書

要旨 地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、教育条件の地域間格差が大きく広がる可能性は否定できない。

子供達がどこに生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられる

よう、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させる必要があり、国に対して実現するよう強く要望する。

提出議員 橘 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

地球温暖化防止の措置を

異常気象による合 な少子化対策を求 める意見書

要旨 本来であれば、数十年に一度というレベルの異常気象が頻発している。

温帯低気圧が台風並みに猛威をふるい、それに伴う洪水や土砂災害、さ

らには集中豪雨や竜巻の頻発、また海岸浸食の進行や夏の猛暑も例年化し地球温暖化による疑いが濃厚であると多くの識者が指摘しているところがある。

海岸保全や防災のための施策はもろろん、確実に地球を蝕んでいる地球温暖化を防止するための

措置を講じるよう、国に対して強く要望する。

提出議員 橘 照茂
他5名

(全員賛成により可決)

決算特別委員会

決算審査報告

平成18年度の決算認定では、11月7日と8日の2日間にわたって決算特別委員会が開かれました。一般会計と8特別会計、2事業会計の歳入歳出の決算について審査しました。町税の滞納対策やそれぞれの施策の成果に、活発な質疑が交わされました。

特別委員会での審査の中から、主な質疑内容を報告します。

納税組合奨励金の 今後は

問 納税組合奨励金の今後はどうなるのか。

答 県内9市町が廃止をした。口座振替の普及に努めるよう納税組合にお願いしているが、徴収率の低下を招かないように、今後の推移を見ていく。

問 奨励金制度を廃止した市町の状況は。

答 口座振替率が高ければ良いが、そうでなければ若干の影響があると聞く。

問 不能欠損はどういう基準で処理しているか。

答 5年の時効を迎えたもの。あるいは差押え物件等の基準による。

あらゆる手を尽くし、調査した結果、納付者がいないときに行う。納税者に不公平が生じないようにしたい。

職員の定数削減は

問 職員の人件費が減少しているとのことだが、定数削減等順調に進んでいるのか。

答 順調である。合併時は44人だったが、18年は435人、19年は426人、20年は413人になる予定である。目標以上に進んでいるが、現在、看護師が足りない状況である。

平成18年度決算の状況

※1万円未満は切り捨て

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	161億5,339万円	160億3,916万円	1億1,423万円	
特別会計	国民健康保険	26億1,038万円	25億9,465万円	1,573万円
	老人保健	29億5,094万円	29億5,094万円	
	農業集落排水事業	6億6,855万円	6億6,833万円	22万円
	公共下水道	13億6,020万円	13億5,949万円	71万円
	地域し尿処理	7,527万円	7,526万円	1万円
	介護保険	23億4,751万円	22億6,540万円	8,211万円
	診療所事業	9,368万円	8,992万円	376万円
	簡易水道	2,427万円	2,417万円	10万円
水道	収益的収支(税抜)	6億9,587万円	5億7,134万円	1億2,453万円
	資本的収支(税込)	9,792万円	5億232万円	△4億440万円
病院	収益的収支(税抜)	14億9,433万円	15億2,482万円	△3,049万円
	資本的収支(税込)	1億9,190万円	2億6,421万円	△7,231万円

更なる福祉向上を

目指して



医療の充実を図り、安全な医療・介護の推進に努めます。
(町立富来病院)

県立高校への補助は検討が必要だ

問 富来高校国際コース海外派遣補助金は高校再編の問題もあるが、来年度も継続していくのか。県立高校への町の補助は検討が必要だ。

答 国際コースの生徒は目的意識を持って入学して実績も上げており、教育過程に組み込まれている現時点では継続が望ましい。

医療機器の購入入札しているか

問 医療機器の購入について入札をしているのか。

答 他の入札と変わりにくく行っている。業者そのものが多くないが、特定業者との随意契約はない。

問 薬の管理は。院外処方になった場合の薬の在庫はどうなるのか。

答 薬剤師がコンピュータ管理をしている。不足して、患者に迷惑をかけることはない。

平成19年11月から74歳以下の方は院外処方を開始しており、20年4月にも精神科以外は移行するが、入院患者、救急対応の分は薬局にも必要である。

下水道整備計画の見直しは

問 公共下水道整備は大変経費が掛かり、整備計画を見直す地区はないか。

答 エリアマップの中でも合併浄化槽で対応しているところもある。

問 公共下水道が接続するまで数年かかるため、接続を条件に合併浄化槽を設置しているところがあるが、財政負担からすれば、見直しが必要でないか。

答 環境浄化、保全が重要であり、住民に対して説明しながら進めていきたい。



生活環境の改善と公共水域の水質保全を目的に整備が進められている下水道整備。

**水道事業
有収率の原因は**

問 有収率（配水量に対する料金として収入のあった水量の割合）が、85%であるが、管路の老朽化が原因と認識しているのか。

答 有収率については、管路の老朽化による漏水のロスと、管路の修繕、下水道工事の布設替えに伴う洗管に水を使用することも一因である。管路は、下水道の工事に併せて更新している。

地震被害 来年度予算に及ぼす影響は 大変厳しい状況



富澤 軒 康 議員

富澤 地震による被害額が来年度予算に及ぼす影響は。

町長 公共施設の復旧事業費をはじめ災害関連事業費は、約25億3千万円を本年度予算で補正対応した。

国・県支出金、地方債を充て、残りを基金、特別交付税等からの財源となり、財政調整基金の残高が1億3千万円余りと大変厳しい状況。

富澤 経常経費の抑制を念頭においた来年度の予算編成を心掛けるように各担当課に指示をしたそうだが、実際どのような指示をしたのか。

町長 ①投資的経費は、市町村計画に記載された事業以外は特別な理由がない限り認めない。

②行政改革大綱に掲げられている財政の健全化を目標として集中改革プランにある具体的な実施内容・数値目標計画に基づいて事務事業を見直して、経費の削減に取り込

むこと。

③経常経費については、物件費、維持補修費、補助費の削減の徹底を図ることを、予算編成方針の中に盛り込み、全職員に指示をした。

富澤 来年度、若者定住施設の宅地造成事業以外に、第一次総合計画に基づき大型事業は何か。

町長 ケーブルテレビ整備事業、防災拠点センター整備事業がある。

指定管理者制度 その成果は

公募型プロポーザルも視野に

その他の質問

富澤 指定管理者制度の導入を行い、実際の具体的な取り組みとその成果がどのように表れたのか。

また、導入したことにより、町の負担がどれくらい軽減されたのか。

町長 本町では、39施設に制度を導入し、随意指定で26団体を指定管理者に指定している。

指定管理者からの業務

計画における改革は、必要最小限による管理運営で人件費の削減、簡易な業務についてシルバー人材センターの活用などコスト削減の努力がされている。

しかし、施設全体の指定管理委託料では、町の負担の大幅な削減にはなっていない。

行政コストの縮減が導入の本来の目的であり、次回の指定に際しては公募型プロポーザルも視野に検討したい。

富澤 行政改革大綱と集中改革プランを推進してきた1年間の取組みとその成果は。

町長 人員の削減で平成17年の450人を、19年には434人に削減する計画を、実際には427人となり23人の削減を図り、志賀中学校の統合、堀松保育園の休止、担当課長の減による管理職手当の削減を図った。

平成19年度予算で、将来の財政基盤強化のため、財政調整基金等の積み立てを予定。その他、行政評価制度の導入、指定管理者制度の導入の推進である。



経営努力により、入場者が増えているアクアパーク・シオン。

※公募型プロポーザル
事業者の選定方法の一種で、事業の提案を公募し、提出された提案書について、募集要項等であらかじめ示

された評価基準に基づき審査を行い、最も優れていると認められる提案書の提出者と契約を締結する方式



寺岡真貴子議員

非常時に備え 基金を積み増しすべきだ

計画通り積み立てしていく

寺岡 地震被災による来年度以降への影響はあるか。

子供や孫につけを残さないよう、予定通り基金を積立していきたい。

行革プランの通りに財政調整基金を積立できるのかどうか。

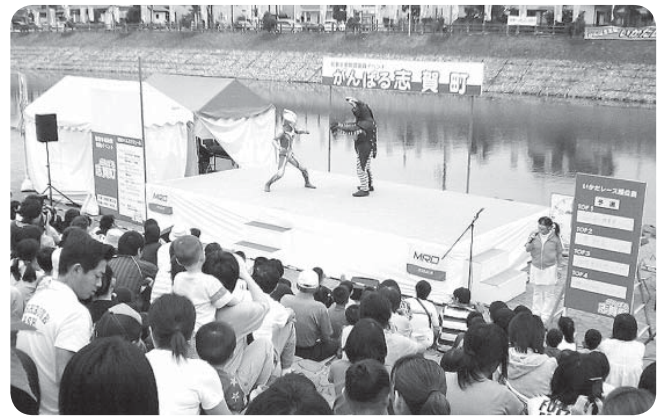
非常時のため、336億円の借金があることを考え、さらに財調基金、減債基金を積み増しすべきだ。

町長 緊急性の高い復旧工事は本年度中にほぼ完了する。来年度分については、原則、国の補助金の対象外で一般財源での対応となるため、財源の確保が非常に難しいが、

寺岡 道路や歩道、側溝等、被害程度の小さなものも数え切れないほどある。爪跡を残すことのないよう、早急に適切に修繕の対応をのぞむ。来年度の道路橋梁維持費・改良費はしっかりと確保すべきだ。

町長 来年度予算は財源が厳しいが、要望に十分応えていくように努力をしたい。

風評被害対策は 関係機関と連携を密に



能登半島地震復興イベント「がんばる志賀町」では、志賀町が復興に向かい着実に元気を取り戻していることをアピールした。（7月29日、道の駅ころ柿の里しか）

寺岡 地震被災以降の本町の観光への影響を把握しているのか。

町長 関野鼻をはじめとして町の貴重な財産である観光資源も大きな被害を受けた。ヤセの断崖付近では、県と協議を重ね、国庫補助事業による整備工事に着手している。観光資源の被害のみならず、風評被害により、宿泊客及び日帰り観光客は例年の3割弱が減少。

寺岡 わが町の風評被害対策は具体的にどのようなものがあったのか。風評被害対策についてどのようになっているのか。

町長 石川県及び能登半島広域観光協会と連携をし、三大都市圏街頭キャンペーンに参加。また、町独自の取り組みとして、県内各地で開催された復興イベントに積極的に参加、テレビCMを毎週1回放映し、「元氣宣言・志賀町」をPRした。未だに風評被害を払拭できたと考えておらず、引き続き、関係機関と連携を密にしながら、完全復興、地域の活性化に進む。

寺岡 地域活性化につながるイベントに対して、強く支援をすべきだ。特に地域の青壮年団体の活発な取り組みにも一層の支援を願いたい。また、イベントの補助金のあり方、町の関わりのある方について基準があるのかどうか。

町長 イベントは町民の融和、協調、地域の活性化に貢献できるものと考えている。これまで開催してきた各種のイベントについて再検討したい。観光イベント支援事業補助金交付要綱を作成し、次年度から要綱に基づいて、実施対象団体を支援していきたい。

寺岡 3月25日、震災から一年を迎える日を本町は、どのように捉え、何をやるのか。

町長 県の能登半島地震復興プランに基づいて、一日も早く生活再建できるように支援していくことが重要。

体験を風化させずに、町民の防災意識を高めるといったことと共に、防災に関する啓発について、広報紙等で実施する予定。住民が復興に向けて何か記念事業を実施したいということであれば、行政としても側面に支援したい。

志賀原子力発電所の運転再開は

町民の安全・安心を第一に判断する



戸坂 忠 寸 計 議員



運転を停止している志賀原子力発電所

戸坂 今回の運転停止に係る一連の事案については、北陸電力による再発防止対策の実施と定着に向けた取り組みが着実に進められており、地震対策についても、国が耐震安全性の確保を確認するなど、発電所の運転再開に向けた環境が整いつつあるものと思われる。

これまでの北陸電力の取り組みや国による耐震安全性の確認などを踏まえ、運転再開に対する町長の考えは。

町長 再発防止対策検証委員会では、中立的な立場の委員が、活発に議論を行って、一般市民の視点で「隠さない企業風土づくり」と「安全文化の構築」について厳正に評価・検証している。

これまで、相当の進捗が見られるが、今後とも、法令順守と意識改革の教育など再発防止対策を、着実に実施をして、定着させることが非常に大切であり、これがひいては、町民の安心感の醸成に繋がると考えている。



中越沖地震を踏まえて自衛消防隊の強化のため、専任の化学消防隊を新設した。

北陸電力にあつては、昨年9月に改定された耐震審査指針を踏まえた地質調査や耐震安全性の更なる向上を図るための工事を実施していると聞いており、安全・安心の確保につながる取り組みと受け止めている。

北陸電力から再起動、運転再開の申し入れはまだないが、あつた時点において、議会と協議しながら、町民の安全・安心を第一に考えて判断したい。

原子力発電所対策特別委員会(12月17日)

臨界事故等再発防止対策の進捗状況を確認



当委員会では、志賀原子力発電所の臨界事故等に係る再発防止対策の進捗状況等を確認するため、志賀原発を視察し、北陸電力から説明を受けた。

再発防止対策のうち、制度・体制などの仕組みづくりについては、90%程度が完了、19年度の実
 当委員会では、志賀原子力発電所の臨界事故等に
 係る再発防止対策の進
 捗状況等を確認するた
 め、志賀原発を視察し、
 北陸電力から説明を受け
 った。
 再発防止対策のうち、
 制度・体制などの仕組み
 づくりについては、90%
 程度が完了、19年度の実
 現
 回数、人数等の目標を
 立てた研修・教育等の運
 用状況は80%程度まで進
 捗していると説明があつ
 た。
 能登半島地震後の耐震
 安全性の確認について
 は、北陸電力が評価し、
 国がその報告を妥当であ
 ると判断を示している。
 中越沖地震を踏まえた



安全性についても、安全
 上重要な施設の機能に影
 響はないことを国に報告
 し、国も評価対象設備と
 評価方法が妥当であると
 確認している。

また、追加対策として、
 構内道路の地盤改良、緊
 急時対策室の扉枠の強化
 の実施、さらに配管、電
 路サポート類の耐震裕度
 向上工事を実施してい
 る。

続いて、現地視察を行
 い、緊急時対策室、新た
 に配備された化学消防車
 を使った自衛消防隊の訓
 練状況、固体廃棄物貯蔵
 庫等を見学した。

原子力施設被害

国の責任で調査・解明を

全国原発立地市町村議会議長会



査、検証は国の責任で行
 い、原子力施設被害の全
 容解明を急ぐことなどを
 求める大会決議を採択し
 った。

また、東京電力から
 「原発の被災状況及び現
 状」について報告、泉田
 新潟県知事が「被災した
 原発立地地域からのメッ
 セージ」と題しての基調
 講演があり、翌日は、柏
 崎刈羽原発の現状を視察
 した。

全国の立地議会での原
 子力施設の災害、防災対
 策や風評被害対策などの
 情報共有は大事なことで
 あり、大変参考になった
 大会であった。

全国の原発立地市町村
 議会の議員が11月21日、
 新潟県柏崎市に集まり、
 「柏崎刈羽原発・災害対
 策緊急大会」が開かれた。
 これは、中越沖地震に
 よる東京電力柏崎刈羽原
 子力発電所が被災したこ
 とを受けたもので、当町
 からも13名の議員が参加
 した。
 大会では、国に対する
 要望として、原子炉の調

ようこそ志賀町へ

姉妹都市 高浜町議会 議会運営委員が来町

議会運営で意見交換

11月19日、姉妹都市福井県高浜町の議会運営委員の皆さんが本町へ、議会運営の視察研修に来町されました。

当議会議長及び議会運営委員が出席して、当町の概要について説明し、その後、議会運営方法や体制などの違いを中心に、

双方活発に意見を交換し、大変意義深い研修となりました。

翌日は、能登半島地震に伴う被災箇所、仮設住宅、とき実験農場、富来を描く美術展、渤海等を視察されました。



熱心に質問をする高浜町議会の皆さん



とき実験農場で説明を聞く高浜町議会の皆さん



意見交換する当議会運営委員



議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞できます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。

傍聴はおいしくなさい

〈一般質問の会議録を全文公開〉

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、本会議の内容全文を記録した「会議録」や賛否の一覧表を公開しています。もっと詳しく内容を知りたい方は、下記アドレスにアクセスした後、議会情報から閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.town.shika.lg.jp>

直撃インタビュー

新成人に聞きました

1月13日、志賀町では、男129人、女161人の計290人が新成人として旅立ちました。成人式の会場で新成人に20歳になって思うことなどをインタビューして来ました。質問事項は①どんな大人になりたい②将来又は今後の目標等③志賀町に対して望むことです。



牧出 洋祐さん (弘木)

現在、千葉県の大学で勉強しています。

- ①自分で責任のとれる行動をして、周りに迷惑をかけない、自立できる大人になりたい。
- ②理学療法士になるために今の学校で学んでいます。資格を取ったら志賀町に戻り、仕事で貢献したい。
- ③生まれた町なので、このまま変わらずにいてほしい。



吉村 友成さん (高浜町)

現在、愛知県の大学で勉強しています。

- ①どんなときでも余裕のあるスマートな大人になりたい。
- ②自分の希望するスポーツ系の道へ進みたい。
- ③若者が住みやすい町になってほしい。



町岡 絵里香さん (北吉田)

現在、茨城県の大学で勉強しています。

- ①人のことを考えられる、そして笑わせられる思いやりのある大人になりたい。
- ②今年は陸上競技で、全国で上位入賞したい。将来はスポーツが好きなので体育の教師になりたい。
- ③志賀町は体育施設が充実しているが、もっといろいろな人が気軽に使えるようにしてほしい。



馬場 絵理子さん (笹波)

現在、介護福祉士として働いています。

- ①社会に恥じない大人になりたい。
- ②勤めて2年になるが、たくさんの方と接しているいろいろなことを学び成長していきたい。
- ③住みやすい町になってほしい。



第19回志賀町

「富来を描く美術展」

入賞者に聞く！

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年の11月には第19回の審査が行われ、次の方が大賞、県知事賞に選ばれたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。



中村 陽一氏 (川北町)

大変名誉ある賞をいただき光栄に思います。震災からの復興を強く思い、巖門の松を通して能登の自然の力強さと美しさに気持ちを込めました。能登の皆様になんかと思いが伝われば幸いです。



磯部 雄三氏 (白山市)

間もなく男衆が集まり、灯りに照らされ漁の喧騒が始まる。それまでの一時の静寂、ゆつたりと舳やわれ憩う漁船にそそぐ月の光。自然、民族、風土、人情にあふれ画材に満ち満ちたこの町。全国でもまれな「富来を描く美術展」の存在は、さらなる活力と励みを生み出します。

石川県知事賞 「漁待月光地(西海邊)」



成人おめでとう

志賀町成人式

はたちの門出に

250名が出席



1月13日、能登ロイヤルホテルで行われた成人式では、290名の新成人のうち、250名が出席し、大人への自覚を新たにしました。

来賓を代表して林議長が「ふる里志賀町を更なる発展へと導くために、若さあふれる皆さんの力をお借りしたい」と祝辞を述べました。

これからの新成人の皆さんのご活躍を期待したいと思えます。

(関連記事15P)



議会広報特別委員会

委員長	橘 照茂
副委員長	田中 正文
	越後 敏明
	富澤 軒康
	櫻井 俊一
	戸坂忠寸計